

領域開拓プログラム(研究テーマ公募型研究テーマ)

- ◆課題:「パンデミックなど世界規模の災禍への人間社会の対応と課題」
- ◆研究テーマ:「**パンデミックの歴史研究に基づいたポストパンデミックの社会・環境理論の構築**」

研究期間: R2.10~R5.3
委託費総額: 14,528千円

<研究代表者>

藤原辰史: 京都大学人文科学研究所 / 准教授



<専門分野> 環境史、農業史、食農思想史

<Webページ>

<http://www.zinbun.kyoto-u.ac.jp/~fujihara/>

<研究目的・概要>

・コロナ禍に直面し、歴史を踏まえた自然観・人間観の見直しが喫緊の課題となる

感染症やその他の災厄の史料を収集し、次の危機にも対応できる柔軟な人文知構築を目指す

- ・スペイン風邪や感染症関連史料の調査
- ・オンライン講義で成果を発信
- ・社会と双方向で危機理論の醸成を図る

コロナ禍を含む今後の危機に対応可能な時間軸の長い人文知を創造、国民に提案

<研究計画の特徴>

研究会で歴史史料収集。危機理論を抽出し、整理



オンラインで発信と視聴者の史料提供により双方向的学知の形成



研究会で再度議論し、将来の危機に役立つ史料集と理論を公開

<目標とする研究成果>

(1) 日本感染症史の社会背景を解明

スペイン風邪をはじめとする感染症史料集の作成と公開

(2) 総合的危機に対応できる理論の構築

危機の時代を長い時間軸で相対化できる息の長い人文・社会科学理論の提示

<将来展望>

史料集と理論集が、自治体や国それぞれの将来の危機対応コンセプト形成に役立つ